



マラソンの距離はどうして42.195キロメートルなの

マラソンというところを兵士が走った距離

マラソンということばは、紀元前490年のギリシャ時代にさかのぼります。ペルシャ軍とアテネ軍が衝突したところが、マラトン（英語読みではマラソン）というところで、その勝利を伝えたアテネ軍の兵士が走った距離が、マラソンの距離とされています。この兵士は「喜べ、われらは勝てり」とさげんで、息たえたといわれています。

その後、オリンピックが再び行われるようになった1894年（明治27年）、このギリシャの兵士に敬意をあらわすために、マラトンからアテネまでの競走を、提案しました。これが、マラソンの始まりといわれています。

第4回オリンピックから42.195キロメートルに統一

第1回のアテネでのオリンピック大会では、マラソンの距離は36キロメートルほどでした。その後行われたオリンピックでも、40キロメートルを中心として距離はまちまちでした。しかし、1924年（大正13年）の第8回パリ大会からは、第4回のロンドン大会で採用されていた42.195キロメートルが正式な距離となり、今でもこの距離を走ることになっています。

なぜ、このような中途はんばな距離になったかは、よくわからないのですが、目標地点から競技場に入って、さらにゴールまでの距離があるためといわれています。今では正確に、この距離でマラソンが行われています。（監修・保岡 孝之）

